

ゆうかけ 夕光

『ハロウィン仮装・モンスター射撃』
「すみれ」・「さざんか」ユニット

伊豆高原十字の園 広報誌

No. 131

「いのちの歌」という歌をご存じてでしょうか。竹内まりやさんが歌う曲ですが、その一節にある「生きてゆくことの意味を問いかけるたびに胸をよぎる愛しい人々の温かさ、この星で巡り会えた奇跡はどんな宝石よりも大切な宝物：いつかは誰でもこの星にさよならをする時が来るけれど命は継がれてゆく：出会ったこと、笑ったこと、その全てにありがとう、この命にありがとう」という歌詞に、新しい年を迎えたこの一月に57歳を迎え、これまでの出会いや出来事のひとつひとつに感謝の思いが湧いてきました。「命は継がれてゆく」という言葉から、お別れは寂しいけれど、それまでの関わりで生まれたいろんな思いは受け継がれ、更に広がっていく。そのようなイメージが思い浮かび、些細な関わりであったとしてもかけがえのないものになっていくことを思いました。

新年の挨拶には不似合な話題だったかもしれませんが、「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります」の理念を実践し続ける一年でありたいと思います。

今年も、ご支援のほどよろしく願っています。



伊豆高原十字の園
施設長 山本隆弘

敬老祝会



節目の祝いの方には、山本施設長から記念品と賞状を贈呈。ケーキやお菓子なども用意し、各ユニットで賑やかな敬老祝会となりました。皆さま、これからもお元気でお過ごしください



給食室では、入居者の皆様のご長寿のお祝いに職員が心を込めてお弁当を作りました。



(お品書き) ・木の葉南瓜と冬瓜の含め煮 ・鰯照り焼き ・おぼろ寿司、吸物 ・水羊羹、オレンジ

クリスマス

今年も各ユニットでレクリエーション担当者を中心に各職員で協力しながら準備をし、ユニットそれぞれの楽しいクリスマス会を行いました。



昼食には、チキンライス・ミートローフのプレート、ミネストローネ・チョコレートムースを作りました。ソフト食は型を抜いて見た目も楽しんでいただきました。



「伊豆高原十字の園 デイサービスセンター」では、クリスマスに向けての作業レクリエーションとして、役割を分担しながら、毛糸を使ったクリスマスリース作りに取り組みました。利用者の皆さんは、楽しみながら作品を作っていました。

デイサービスセンター クリスマスの準備



色とりどりの素敵なリースが完成



対島地域支え合い懇親会(第2層協議体)

各地域でそれぞれの支援活動を行うボランティア(個人・団体)、伊東市の事業で支援活動を行う生活支援サポーター、移動・外出支援ボランティア、地域の居場所スタッフの方々が参加し、自分たちの住む地域の課題や支え合う地域づくりについて話し合いを行いました。高齢者の免許返納による移動についての課題や高齢化によるボランティア減少についてなど、参加者の皆さんが日頃抱く思いについて共有することが出来ました。



令和5年度 第2回「介護者の集い」 10月23日(月) ふるさと会館(伊東市八幡野)

現在進行形で介護をしている方と過去に介護経験のある方による、それぞれのエピソードや介護に関する思いについてお話しをしていただきました。認知症の方やその家族を地域で支援する住民団体「チームオレンジ・おはな」のメンバーも参加し、住民主体による住民同士の有意義な会となりました。



認知症高齢者等見守り訓練 11月16日(木)浮山会館 (対島地域包括支援センター)

認知症における地域の支援団体「チームオレンジ・おはな」の皆さんが、伊東市浮山温泉郷の居場所「浮山の仲間」へ出向いて、地域の方々と認知症高齢者の見守り訓練を実施してきました。認知症の高齢者を発見した際の適切な声かけ方法や伊東市高齢者あんしん見守りネットワーク事業で使用するQRコードをスマホで読み取り、家族へ保護をお知らせして迎えにきてもらうといった内容で、チームオレンジおはなの皆さんがお手本として初めに実践し、来場された地域の方々にも体験をしていただきました。

苦情等対応のお知らせ

《2023年7月～2023年12月》施設1件、在宅2件

【特別養護老人ホーム】

- コール対応時の職員の態度・言葉遣いが怖いとの意見。
(対応) 事実確認の後、聞こえるように大きな声になってしまったことを説明のうえ謝罪。職員へは耳の遠いご利用者へのコミュニケーション方法の検討や相手を不安にさせない配慮が必要なことを指導し全体に周知した。

【地域包括支援センター】

- 介護サービスを利用したいが相談がしにくいとの意見。
(対応) 当該利用者からはサービス利用は先でいいと言われたため担当者は保留にしていた。利用者の思いのゆらぎを受け止めながら、適切な支援を提供することを事業所内で再確認した。担当者交代のうえでサービスを継続する。
- サービス決定時の説明不足、職員の態度・言葉遣いへの意見。
(対応) 希望を聞いてもらえず、意図しない提案をされたとの内容。担当者へは自分の考えを押し付けるのではなく、相手の思いを実現出来るよう対応することを指導した。担当者を交代のうえでサービスを継続する。

献金報告 (2023年6月～2023年11月)

合計 ¥280,513- (5件)

佐倉輝美、神永陽一、伊藤広明、椿原真澄、匿名

[子ども食堂寄付]

トヨタユニテッド静岡・齋藤佐智子・村岡商事・NPO法人郷組・関谷哲男・佐藤健治・森つねよ・スターバックスコーヒージャパン・岐阜米穀株式会社 (順不同・敬称略)

皆さまのご厚意に感謝申し上げます。

皆さまのご支援をお待ちしております

郵便振替口座 00810-6-168180

ゆうちょ銀行 089店 当座 0168180

口座名義 伊豆高原十字の園

ボランティアさん紹介 (順不同・敬称略)

上田彰・上田文(伊東教会)、真田正美・石井滋子(伊豆高原教会)、山口光仕(川奈聖書教会)、島澤かおり(宇佐美教会)、伊豆高原十字の園ガーデニングクラブ、宇佐美教会婦人会(縫製)

ガーデニングボランティアさん募集中!



施設の庭にはお花がたくさん! ガーデニングが好きな方、ぜひ一緒に活動しませんか?毎週金曜日、午前中に楽しく活動しています。

【伊豆高原十字の園ガーデニングクラブ】

☎0557-54-1613 担当: 岩本

あとがき 子どもの頃「言うことを聞かない子にはサンタクロースが来てくれない」と言われた記憶。いくつかの時かそれは大人が子どもに作った言い聞かせと分かった。大人になって同じ言葉を使う自分がある。誰でも言う事を聞けばサンタがやって来るのかな。悲しいけどそうばかりではない現実がある。夢を信じる全ての子ども達にはサンタが来てほしいと思う今日この頃。(重永)

伊豆高原十字の園広報紙 **夕光(ゆうかげ)** No.131

発行日/2024年1月1日

編集/伊豆高原十字の園 広報委員会

発行責任者/施設長 山本 隆弘

年2回(7月・1月)発行 次回 2024年7月発行予定



社会福祉法人 十字の園

高齢者総合福祉施設 伊豆高原十字の園

〒413-0232 静岡県伊東市八幡野1028-4

☎0557-54-1613 FAX0557-54-2484

http://www.jyuji.or.jp

最新情報はこちらからどうぞ▶

